

事業計画書

企業名	株式会社●●●		
設備を設置する事業所	所在地	北九州市●●区●●町●ー●	
	名称	株式会社●●● ■■サービスセンター	
事業実施期間	事業開始予定日	令和●●年●●月●●日	
	事業完了予定日	令和●●年●●月●●日	
契約電力の種類	該当するものを○で囲むこと 特別高圧 <u>高圧</u> ・低圧（電灯）・低圧（動力） 現在の電力会社名（ ●●電力株式会社 ）		
脱炭素電力	変更後の電力会社名（ ●●電力株式会社 ） メニュー名（ ●●プラン ）		
設置設備等の概要	① 電力関連設備	設備の種類	該当するものを○で囲むこと <u>自家消費型太陽光発電設備</u> ・小型風力発電設備 <u>蓄電池</u> 【新設増設・既設更新（ 年 月設置）】
		設置場所	太陽光パネルは工場の屋根 パワーコンディショナーと蓄電池は工場東壁面
		仕様・内容等	太陽光発電設備 ▲▲社製 型式YYY-VVV ●. ● kW 蓄電池システム ▲▲社製 型式PPP-XXX ●●. ● kWh 北九州エコプレミアム製品である(はい <u>・いいえ</u>)
	② エネルギー関連設備①	設備の種類	高天井用LED照明 【既存設備設置年月 ●●年●●月】
		設置場所	工場
		仕様・内容等	●●製 角型（水銀灯700形相当・広角）× 10台 角型（水銀灯700形相当・中角）× 10台 合計 20台 トップランナー基準達成 北九州エコプレミアム製品である(はい <u>・いいえ</u>)

設置設備等の概要	⑧ エネルギー関連設備②	設備の種類	高効率空調機 【既存設備設置年月 〇〇年〇〇月】	
		設置場所	事務所	
		仕様・内容等	〇〇製 天井埋込形 × 〇台 床置き形 × 〇台 合計 〇〇台 グリーン購入法適合品 北九州エコプレミアム製品である(はい・いいえ)	
	⑨ 電動車関連	電動車	メーカー: 日産自動車 型式・名称: リーフ NISMO バッテリー容量: 40kWh 購入費用: 〇〇〇〇〇〇〇円 主な用途: 走行、PV余剰電力の充電、事務所・建物への放電 導入済の場合は購入年月【 〇〇年〇〇月】	
		V2H充放電器 充電器	メーカー: DENSO 型式: DNEVC-D6075 設置場所: 駐車場横 機器購入費: 〇〇〇〇〇〇〇円 設置工事費: 〇〇〇〇〇〇〇円 活用計画等: 事業所の夜間照明及び災害時対応 導入済の場合は購入年月【 〇〇年〇〇月】	
見積書を基に税抜の金額を記入ください。				
補助対象経費(税抜)	区分	金額	備考	
	直接工事費	14,409,910円	※太陽光・風力発電及び電動車関連がある場合は補助金計算表も提出すること。	
	諸経費	1,331,964円	諸経費は、調査費・現場管理費・一般管理費・共通仮設費の合計	
	合計	15,741,874円		
資金計画(税抜)	区分	金額	調達先	
	補助金(千円未満切捨)	2,711,000円	北九州市	
	自己資金	13,030,874円	—	
	借入金	0円	借入を予定している場合はその金額と調達先(金融機関名等)を記入ください。	
	合計	15,741,874円	—	

※⑧電力関連設備、⑨エネルギー関連設備の記入枠は、必要に応じて追加ください。

設備設置効果等

省エネ効果(1) (⑧エネルギー 関連設備の設置 にかかる省エネ 効果)	⑧エネルギー関連設備の設置にかかる、更新前の設備と今回更新する設備を比較した、年間削減量及び削減率を記載してください。電気以外(ガス・灯油・水道等)の設備を更新する場合は、電気削減量に換算して記載してください。別紙でも可(様式自由)	
	<計算式>	
	①更新前の設備にかかる年間電力使用量	
	水銀灯 700W×20台×8時間／日×年間200日＝22,400kWh	
	空調 メーカー試算により20,000kWh(別紙●)	
	合計 42,400kWh	
	②今回更新する設備にかかる年間電力使用量	
	高天井用LED 140.5W×20台×8時間／日×年間200日＝4,496kWh	
	空調 メーカー試算により15,000kWh(別紙●)	
	合計 19,496kWh	
	③年間削減量	
	①－②＝42,400kWh－19,496kWh＝22,904kWh	
	④削減率	
	③÷①×100＝22,904kWh÷42,400kWh×100＝54.0%	
	【省エネルギー効果：電気の場合】	
	① 更新前の設備にかかる電力使用量 (年間実績)	42,400 kWh
	② 更新後の設備にかかる電力使用量 (年間見込み)	19,496 kWh
	③ 年間削減量 (①－②)	22,904 kWh
	④ 削減率 (③÷①×100)	54.0%

省エネ効果(2) (上記省エネ効果(1)に加え、④電力関連設備の削減効果を含めた、全体の省エネ効果)	前年度の事業所全体の年間電力使用量を⑤に記載してください。次に④電力関連設備を設置する場合は、その電気使用量削減効果(年間)を算出します。そして、前頁省エネ効果(1)と合算した削減量を⑥に記載してください。最後に事業所全体の使用量に対する削減率を計算し⑦に記載してください。別紙でも可(様式自由) <計算式> ⑤事業所全体の令和6年度電力使用量 電力会社請求書より 118,000kWh ⑥年間削減量 ⑧省エネ効果(1)より 22,904kWh ⑨太陽光発電及び蓄電池システム メーカー試算より 12,000kWh(別紙▲) 合計削減量=22,904+12,000=34,904kWh ⑦削減率 ⑥÷⑤×100=34,904kWh÷118,000kWh×100=29.6% 【事業所全体の省エネルギー効果：電気の場合】 ※各電力会社「電気料金等請求書兼領収証」令和6年4月～令和7年3月分の写し)を添付してください。 <table border="1" data-bbox="442 1164 1420 1395"> <tr> <td>⑤ 令和6年度の年間電力使用量(実績)</td> <td>118,000kWh</td> </tr> <tr> <td>⑥ ④⑧の全てを導入することによる年間削減量(見込み)</td> <td>34,904kWh</td> </tr> <tr> <td>⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)</td> <td>29.6%</td> </tr> </table>			⑤ 令和6年度の年間電力使用量(実績)	118,000kWh	⑥ ④⑧の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904kWh	⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)	29.6%
⑤ 令和6年度の年間電力使用量(実績)	118,000kWh								
⑥ ④⑧の全てを導入することによる年間削減量(見込み)	34,904kWh								
⑦ 削減率(⑥÷⑤×100)	29.6%								
これまでの省エネの取組	省エネに関するこれまでの取組(電力関連設備・エネルギー関連設備等導入実績、省エネ活動など)を具体的に記載してください。 審査の参考とします。別紙でも可(様式自由) 【記入例】 ●●●年度に会議室の照明をLEDに更新、■●●年度に空調機口台を更新 ○○●年度に太陽光発電○kWを導入 ●●●年度に昼休みの消灯、空調設備のON/OFFは冷房が28℃・暖房が18℃に設定するなど、省エネに取り組んだ。								
EMS機器設置の有無	有・無	メーカー:パナソニック製 エネミエールS 型式:BT3740k							
省エネ診断受診の有無	有・無	(要綱第4条関連) 他の補助金受領の有無	無 (電動車、V2Hを除く)						

注) EMSは、エネルギーマネジメントシステムの略です。

省エネ効果(3)
現在使用中のレ
シプロエンジン
自動車のガソリ
ン消費量(CO2排
出量)と電気自
動車とV2H充
放電器・充電器
の組合せによる
CO2排出量の比較
による省エネ効
果

※電動車関連を導入する場合は本頁も提出ください。

現在使用中のレシプロエンジン自動車の年間走行距離及び平均燃費等を基に年間のガソリン消費量(CO2排出量)を算出します。そして電気自動車とV2H充放電器・充電器を導入した時の年間電力使用量を基にしたCO2排出量を算出して削減効果を計算し⑬に記載してください。別紙でも可(様式自由)

<計算式>

⑧令和6年度の年間走行距離(実績) 3650km

⑨年間のガソリン消費量(実績)又は平均燃費(18km/ℓ)を基に算出(推定値) 203 ℓ

⑩ CO2排出量1(⑨を基に計算)・・・ ① CO2排出量2.312kg/ガソリン1ℓ

⑨×①÷1000kg/t= 0.469t

⑪電動車とV2H充放電器に更新した場合の年間電力使用量(見込)

・・・⑧日産リーフ バッテリー容量40kWh のWLTCモード燃費 322km/40kWh

⑧÷⑧=453.4kWh

⑫ 電動車に更新し、脱炭素電力契約にした場合のCO2削減量

⑩と同じ

⑬ CO2削減率 ⑫÷⑩×100%=100%

【電動車の省エネルギー効果(CO2排出量)】

※手元にあればガソリンスタンドのレシート1年分

(令和6年4月～令和7年3月分の写し)を添付してください。

⑧ 令和6年度の年間走行距離 (実績)	3650km
⑨ 年間のガソリン消費量 (実績) 又は平均燃費を基に算出 (推定値)	203ℓ
⑩ CO2排出量 1 (⑨を基に計算)	0.469t
⑪ 電動車とV2H充放電器・充電器に 更新した場合の年間電力使用量 (見込)	453.4kWh
⑫ 電動車に更新し、脱炭素電力契約に した場合のCO2削減量 (⑩)	0.469t
⑬ CO2削減率 (⑫÷⑩×100)	100.00%

補助金計算表

1. 電力関連設備（太陽光発電）の補助対象経費

補助対象経費（税抜）	区分	金額	パワコン出力／備考
	直接工事費	7,788,910円	29.70kW
	諸経費	1,236,964円	網掛けの部分は自動的に計算されます。
	計	9,025,874円	
	仮補助金計算	2,079,000円	※パワコン出力(kW)×7万円 千円未満切捨て

2. エネルギー関連設備の補助対象経費

補助対象経費（税抜）	区分	金額	備考
	直接工事費	1,230,000円	
	諸経費	50,000円	
	計	1,280,000円	②
	仮補助金計算	426,000円	※合計額の1/3 千円未満切捨て

3. 電動車関連の補助対象経費（V2H充放電器・充電器は単独申請が可能）

補助対象経費（税抜）	区分	金額	台数／備考
	電動車購入費	4,665,000円	購入台数を記入く 1台
	V2H充放電器	550,000円	1台
	普通充電器	400,000円	1台
	設置工事費	221,000円	(諸経費45,000円)
	計	5,836,000円	③
総工事費		16,141,874円	※①②③合計

4. 補助金 ※電動車の購入費は見積書の「総額」－「消費税・地方消費税等額」となります。

補助金（税抜）	区分	金額	備考
	電力、エネルギー関連	2,505,000円	
	電動車関連	1,000,000円	
合計		3,505,000円	最大500万円（太陽光・蓄電器 セットの場合最大600万円）
資金計画（税抜）	区分	金額	調達先
	補助金（千円未満切捨て）	3,505,000円	北九州市
	自己資金	13,030,874円	—
	借入金	円	—
合計		16,535,874円	—

補助金計算表

1. 電力関連設備（風力発電）の補助対象経費

補助対象経費（税抜）	区分	金額	備考
	直接工事費	220,000円	パワコンの出力（kW）を記入ください。 8.54kW
	諸経費	55,000円	網掛けの部分は自動的に計算されます。
	計	275,000円	
	仮補助金計算額	91,000円	※合計額の1/3（千円未満切捨て）

2. エネルギー関連設備の補助対象経費

補助対象経費（税抜）	区分	金額	備考
	直接工事費	1,230,000円	
	諸経費	65,000円	網掛けの部分は自動的に計算されます。
	計	1,295,000円	②
	仮補助金計算額	431,000円	※合計額の1/3（千円未満切捨て）

3. 電動車関連の補助対象経費（V2Hはセット申請、既設の場合は単独申請が可能）

補助対象経費（税抜）	区分	金額	台数／備考
	電動車購入費	4,665,000円	購入台数を記入ください。 1台
	V2H充放電装置	550,000円	1台
	普通充電器	400,000円	1台
	設置工事費	221,000円	（諸経費45,000円）
	計	5,836,000円	③
総工事費		7,406,000円	※①②③合計

4. 補助金（※電動車の購入費は見積書の〔総額〕－〔消費税・地方消費税等額〕となります。）

補助金（税抜）	区分	金額	備考
	電力、エネルギー関連	522,000円	網掛けの部分は自動的に計算されます。
	電動車関連	1,000,000円	
合計		1,522,000円	最大500万円
資金計画（税抜）	区分	金額	調達先
	補助金（千円未満四捨五入）	1,522,000円	北九州市
	自己資金	684,000円	—
	借入金	5,000,000円	●●銀行
	合計	7,206,000円	—